

過去問プラス PLUS 資料解釈 No.1

特別区 I 類 2015 実数の表

難易度 ★★★★★

重要度 ★★★★★



参考項目 資料解釈ザ・ベスト プラス インプット編 #1

問題

次の表から確実にいえるのはどれか。

日本のアジア 5 か国への輸出額の推移

(単位 100 万円)

国名	2008 年	2009	2010	2011	2012
インドネシア	1,303,573	869,687	1,394,459	1,412,322	1,618,683
韓国	6,168,285	4,409,729	5,460,193	5,269,143	4,911,270
シンガポール	2,757,576	1,933,160	2,209,100	2,170,069	1,859,371
タイ	3,051,463	2,069,705	2,993,721	2,988,515	3,488,868
中国	12,949,889	10,235,596	13,085,565	12,902,160	11,509,144

- 2012 年において、韓国への輸出額の対前年減少率は、中国への輸出額のそれより小さい。
- 2012 年におけるシンガポールへの輸出額の対前年減少額は、3,000 億円を下回っている。
- 2008 年から 2012 年までの各年におけるタイへの輸出額の平均は、3 兆円を上回っている。
- インドネシアへの輸出額の 2010 年に対する 2012 年の増加率は、15%より小さい。
- 2010 年における中国への輸出額に対する韓国への輸出額の比率は、前年におけるそれを上回っている。

解説

肢 1 11 年→12 年の韓国は、5,269,143→4,911,270 で、360,000 程度減少しており、これは 5,269,143 の **1 割に及びません**。

一方、中国のそれは、12,902,160→11,509,144 で、1,400,000 弱減少しており、これは 12,902,160 の **1 割を超えます**。

よって、減少率は、**韓国<中国**となり、本肢は確実にいえます。

肢 2 11 年→12 年のシンガポールは、2,170,069→1,859,371 で、その差は **300,000 (100 万円) = 3,000 億円**を超えます。

肢 3 タイが 3 兆円 = 3,000,000 (100 万円) を上回ったのは **08 年と 12 年**で、3,000,000 との**差額 (超過額)**は、

過去問プラス 資料解釈 No.1

08 年が 51,463、12 年が 488,868 で、合わせても 600,000 に及びません。

しかし、09 年は 3,000,000 に 900,000 以上不足していますので、平均は 3,000,000 に足りません。

肢 4 10 年→12 年のインドネシアは、1,394,459→1,618,683 で、220,000 以上増加しており、これは 1,394,459 の 15%を超えます。

1,400,000 の 15%で
210,000 だからね！

肢 5 09 年と 10 年の「韓国÷中国」を次のように比較します。

分母は 09 年→10 年で、2,800,000 以上増えており、これは 10,235,596 の 25%を超えます。

しかし、分子のそれは、1,100,000 まで増えておらず、これは 4,409,729 の 25%に足りません。

$$\begin{array}{r} \text{(2009 年)} \\ \frac{4,409,729}{10,235,596} \end{array} > \begin{array}{r} \text{(2010 年)} \\ \frac{5,460,193}{13,085,565} \end{array}$$

4,400,000 の 25% (=4
分の 1) で 1,100,000

よって、09 年→10 年では、分子より分母の増加率のほうが大きいので、分数は 09 年 > 10 年となります。

正解 1